

2006

Chubu University  
Charity Concert

チャリティーコンサート

第三回

中部大学  
音楽祭

12/10(日)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

学校法人 中部大学





## ごあいさつ

学校法人中部大学理事長  
大西良三

本日は、第3回中部大学音楽祭「チャリティ・コンサート」へおいでいただき、厚くお礼申し上げます。

この中部大学音楽祭は、みなさまのご協力とご支援で、この広い愛知芸術劇場コンサートホールが満席になるほどの大きな成功を納めてまいりました。これも、若い学生たちの真摯で情熱的な演奏と、長い歴史を持つ「春日井市民第九演奏会」のみなさまのご協力のおかげであります。こころから感謝いたします。

中部大学音楽祭の最後を飾るのは、会場とステージが一体になって歌うベートーヴェンの「第九交響曲」の「歓喜の歌」です。そこには、すべての人の胸に迫るなにかがあります。多くみなさまと共有したこの感動を大切にしながら、来年もまた、良い年でありますようにと願うものです。

では、第3回中部大学音楽祭をごゆっくりお楽しみ下さい。

## 謝辞

中部大学音楽祭実行委員長  
三浦昌夫  
(中部大学学監)

中部大学音楽祭は、少しでも、多くのみなさまのお役に立つように「チャリティ・コンサート」にいたしました。すでに、たくさんチケット代がここに集まってきています。まずもって、ご協力下さいましたみなさまに心から感謝申し上げます。

第3回になりますこの「中部大学音楽祭」から、第一部の運営は学生たちの自主的な活動にゆだねることにいたしました。彼らにとりましては、出演と運営と両方を同時におこなうことになり、大きな緊張感と重い責任感を感じながらのステージになることと存じます。これも大学教育の一つとお思いいただいて、あたたかい拍手とご支援をお願いいたします。

今年もまた第二部で、学生共々、「春日井市民第九演奏会」のみなさまと人類愛を讃えるベートーヴェンの第九交響曲の第4楽章「歓喜の歌」を歌うことができました。指揮者にリンツから若いマーク・ライベルさんをお招きしました。バリトンのダニエル・オーレンシュレーガーさんもリンツでご活躍の国際的な歌手です。さらに、いま各地でご活躍の福住恭子・宮澤優子・平尾憲嗣の三人のソリストのみなさまにもご出演いただきます。合唱とオーケストラには、大学の各クラブのメンバーと教職員も加わりま

す。いつもに増して、感動的な「第九」になるものと存じます。

中部大学の全員参加によるこの「チャリティ・コンサート」の成果をより大きなものにいたすべく、みなさまの一層のご協力をお願いいたします。

## プログラム

### 第一部 中部大学青春の輝き ~Our Music~

#### 中部大学ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ

THREE DAY SUCKERS 作曲:ブルース・ローレン  
SHINY STOCKINGS 作曲:フランク・フォスター  
NIGHT FLIGHT 作曲:サミー・ネステイコ

#### 中部大学マンドリンクラブ

帰れソレントへ 作曲:エルネスト・デ・クルティス 編曲:中野 優  
アイネクライネナハトムジークより第2楽章 作曲:W.Aモーツァルト 編曲:梶山栄治  
水車小屋の娘たち 作曲:マリオ・マチョッキ

#### 中部大学混声合唱団

混声合唱組曲 カムイの森で 作詞:萩原 貢 作曲:広瀬量平  
< I. ひぐまのうた > < II. しまりすのうた > < III. このはずくのうた >  
< IV. くまげらのうた > < V. しまぶくろのうた >

#### 中部大学シンフォニックバンド

イギリス民謡組曲 第1楽章 作曲:レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ  
ポルト 作曲:ショスター・コーヴィッチ  
栄光への脱出 作曲:アーネスト・ゴールド

#### 中部大学管弦楽団

ハンガリー舞曲第5番 作曲:ブラームス  
組曲くるみ割り人形より  
『花のワルツ』 作曲:チャイコフスキー  
ラデッキー行進曲 作曲:シュトラウス1世

### 第二部 歓喜の合唱 ~ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」第4楽章~

#### 中部大学音楽祭オーケストラ・合唱団

賛助出演：春日井市交響楽団／春日井第九合唱団

指揮：マーク・ライベル

独唱：ソプラノ 福住 恭子

アルト 宮澤 優子

テノール 平尾 憲嗣

バス ダニエル・オーレンシュレーガー



# みんなで歌おう、人間賛歌を

## < 歓喜の歌 >

作詞 ● なかにし礼

1. あいこそ かんきに みち  
びく ひーか り さえぎ る  
く な んを こえ て す すーま  
ん かんきの いたー だき  
ふみー しめ たと きわ ーれ  
ら は きょう だーい せか いは ひーと  
つ かんきの いたー だき ふみー  
しめ たと きわ ーれ らは きょう  
だーい せか いは ひーと つ

1. 愛こそ歓喜にみちびく光  
さえぎる苦難を越えて進まん  
歓喜の頂いただき踏みしめた時  
我らは兄弟世界は一つ  
歓喜の頂いただき踏みしめた時  
我らは兄弟世界は一つ

2. 気け高たかき乙女を勝ち得たものよ  
手てをとり歓呼かんこの叫びをあげよ  
人間一人で何が出来よう  
愛なき孤独の人は立ち去れ  
人間一人で何が出来よう  
愛なき孤独の人は立ち去れ